

平成21年度事業報告書

埼玉県NPO基金 ニュース



埼玉県のマスコット コバトン

CONTENTS

ごあいさつ／NPOとは	2	NPO運営力強化・育成支援事業	13
埼玉県NPO基金とは	3	NPO元気なまちづくり助成事業	14～15
NPO活動促進助成事業	4～12	NPO協働提案推進事業	16～18
・チャレンジサポート事業	4～8	寄附いただいた皆様のご紹介	19
・みんなでサポート事業	9～12	寄附のお願い／お問い合わせ先	20

ごあいさつ



埼玉県知事 上田清司

今日、子育てや環境保全、防犯、まちづくりなど様々な分野でNPO活動が活発に展開されています。豊かな地域社会を実現する上で、自主的・自発的な社会貢献活動であるNPO活動への期待はますます高まっています。

私は知事就任以来、本県を日本一NPO活動が盛んな県にすることを目指し支援してまいりました。「埼玉県NPO基金」の設置をはじめ、財政支援や活動拠点づくりなど様々な施策に積極的に取り組んでおります。

この「埼玉県NPO基金ニュース」は、基金を活用して実施した事業の平成21年度の成果をまとめたものです。

平成22年度からは寄附者の皆様に事業の愛称をつけていただくネーミング事業の助成もスタートします。県民の皆様の生き生きとしたNPO活動を促進するために、皆様の更なる御支援、御協力をお願いします。

NPOとは？

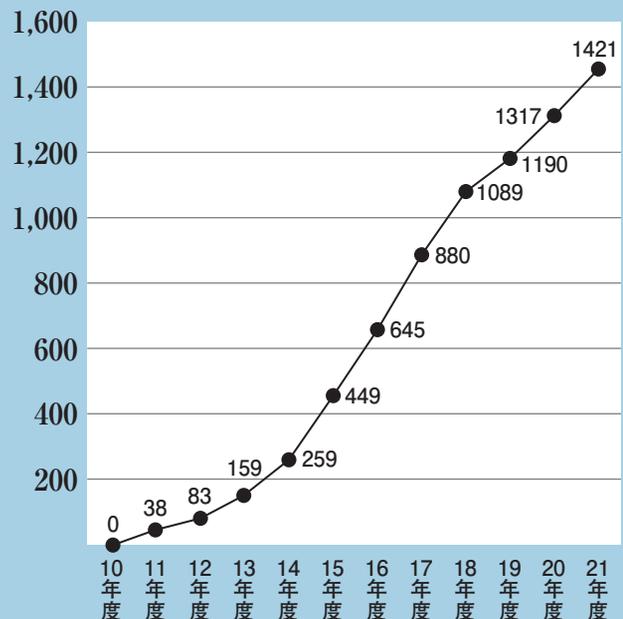
営利を目的とせず、地域や社会の課題に対して自発的に取り組み、継続して社会貢献活動を行う民間団体で、一般的に「民間の非営利組織」と訳されています。

NPO法が定める17の活動分野

- | | |
|------------|----------------|
| ①保健・医療・福祉 | ②社会教育 |
| ③まちづくり | ④学術・文化・芸術・スポーツ |
| ⑤環境保全 | ⑥災害救援 |
| ⑦地域安全 | ⑧人権・平和 |
| ⑨国際協力 | ⑩男女共同参画 |
| ⑪子どもの健全育成 | ⑫情報化社会 |
| ⑬科学技術 | ⑭経済活動 |
| ⑮職能開発・雇用拡充 | ⑯消費者保護 |
| ⑰NPO支援 | |

NPO法人は法に定められた上記17分野の中で活動しています。複数の分野を定款に定めることもできます。

埼玉県の認証NPO法人数



平成10年のNPO法制定以来、NPO法人は順調に数を増やしてきています。昨今、認証数の伸びは一時期の勢いに比べ、落ち着いてはきましたが、着実に数を伸ばしています。

NPO基金とは？

県内NPOの自主的・自発的社會貢献活動に対する支援を行い、その活動を促進するとともに、NPOと行政との協働を推進するための基金です(平成16年4月創設)。

県の積立金(1億円)と県民の皆様や企業の皆様からの寄附金を原資として、NPO活動を促進するための4つ事業を行っています。



**NPOの取り組みに
財政支援をします**

NPO活動促進助成事業 → P.4-12
 NPO元気なまちづくり助成事業 → P.14,15

**NPOと県が協働する
事業を推進します**

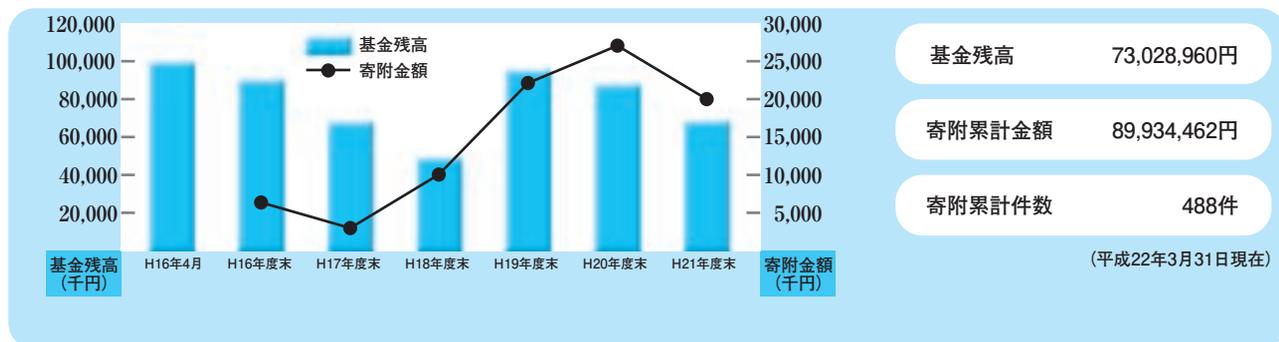
NPO協働提案推進事業 → P.16-18

**NPOの経営能力を高め
組織基盤の強化をします**

NPO運営力強化・育成支援事業 → P.13

これまでの寄附実績と推移

寄附方法	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
一般寄附	2,958,063円	2,380,966円	3,145,846円	2,746,432円	13,612,604円	1,487,055円
分野希望寄附	2,990,000円	1,068,663円	1,001,000円	2,412,959円	3,198,157円	9,725,867円
団体希望寄附	—	—	6,374,395円	17,192,407円	11,135,848円	8,504,200円
合計	5,948,063円	3,449,629円	10,521,241円	22,351,798円	27,946,609円	19,717,122円



これまでの事業実績

事業名	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
活動促進助成	9,728千円 ⁽²⁷⁾	11,376千円 ⁽³¹⁾	11,628千円 ⁽³²⁾	11,434千円 ⁽³²⁾	21,348千円 ⁽³⁶⁾	14,822千円 ⁽⁴¹⁾
協働提案推進	3,995千円 ⁽¹⁾	5,668千円 ⁽²⁾	5,176千円 ⁽²⁾	4,498千円 ⁽³⁾	5,655千円 ⁽⁴⁾	5,899千円 ⁽⁵⁾
元気なまちづくり助成	—	—	—	—	8,654千円 ⁽⁴⁾	11,827千円 ⁽³⁾
運営力強化・育成支援	5,933千円	3,908千円	3,896千円	2,798千円	1,666千円	707千円
合計	19,656千円	21,312千円	20,700千円	18,729千円	37,323千円	33,255千円

NPO活動促進助成事業

NPOの独創的・先進的な視点の取り組みに財政支援することにより、継続的かつ安定的な活動と団体の自立を促進します。また、地域のNPOを地域で支える仕組みを促進します。

平成21年度事業内容

助成区分	チャレンジサポート事業	みんなでサポート事業
対象事業	NPO活動を本格的に展開するために新たに実施する事業 分野枠: 分野希望寄附金を原資として、一定額以上集まった分野で助成 一般枠: 分野を指定せず助成	基金登録団体が主に県内において実施する、定款(規約)に規定された特定非営利活動(社会貢献活動)に係る事業
対象団体	県内に主たる事務所を有し、主に県内で活動しているNPO法人	基金登録団体のうち、当該団体を希望する寄附金があった団体
助成限度額	一般枠 100万円(事業費の2/3以内) 分野枠 50万円、100万円(事業費の4/5以内)	寄附金額(年間1,000万円以内)
事業実績	助成件数 計12件 一般枠 6件 分野枠 6件 助成金額 計6,520千円	助成件数 計29件 助成金額 計8,302千円

平成22年度事業予定

チャレンジサポート事業については、次のとおり実施します。今年度から、「寄附者によるネーミング事業(以下、ネーミング事業)」のご寄附を原資とした助成がスタートします。なお、みんなでサポート事業は、平成21年度と同内容で実施します。

枠の種類	募集分野	補助率	助成限度額
一般枠	—	事業費の2/3を上限	50万円
分野枠	「環境保全」「保健・医療・福祉」「食育・花育」	事業費の4/5を上限	50万円
ネーミング事業	・産経商事(株)Sankeiキッズ募金 子育て支援事業(子どもの健全育成) ・(財)さいたま住宅検査センター まちづくり振興事業(まちづくり)	事業費の10/10	50万円

ネーミング事業とは？

企業名や商品名など、寄附者の意向に沿った名称を助成事業名に冠し、その名称で県が助成団体の募集等を実施するという仕組みです。

チャレンジサポート事業の流れ



自分で作れる 科学おもちゃの開発

(特)科学芸術学際研究所ISTA
(朝霞市)

科学
文化・芸術

科学（理科）に親しむことを目的とし、自分で遊べるような新しいおもちゃを開発するのが、この事業の目的です。科学おもちゃと言っても、その原理はそれほど高度なものではありません。ここでは、正多面体が飛び出すポップアップブック、錯視を誘う立体モデル、雪結晶の成長を作り出すモデル、多面体が見えてくる万華鏡、呼吸する肺胞の動きが見える折り紙モデル、ストローによる多面体の構成の6つを開発しました。これらの開発の間に、新座市児童センターと朝霞市中央公民館で、小学生や高齢者の方々を対象にしてワークショップを行い、おもちゃの改良を試みました。毎回のワークショップの終了後に、参加者に対してアンケートを行い、

おもちゃの作り方の難易度を評価してもらいました。その結果は、非常に好評でした。この事業の成果は、製作法の説明書、および紙製おもちゃの場合の型紙です。今後、おもちゃを製作するワークショップを実施することを企画したい団体や個人の方々は、これらの成果を利用してもらいたいと思います。



自然エネルギー学校 「どこまで来た循環型社会」

(特)小川町風土活用センター
(小川町)

まちづくり
環境保全

生ごみからできたバイオガスに火をともし、きれいな青い炎で燃え上がります。この青い炎でお湯を沸かしお茶を飲み、鍋を温め料理ができた、この新鮮な驚きと感動からこの事業を始めようと考えました。バイオガスを使った生活がどこまでできるのだろうか？これを参加者と一緒にチャレンジして、知恵をどんどん出して生活のレベルを上げていこうと思いました。終ってみると、トイレ、浄水装置、床暖房装置、柿渋、などが形あるものとして残っていきましました。太陽の恵みだけでこうした様々な循環の輪が出来上がって、誰もがそれを味わうことができました。テレビ等で知る環境破壊の危機よりも、よほど身近に「じゃあ何ができるんだ」ということ

を参加者の皆さんに伝えることができたと思っています。スタッフも予算も限られている中、助成金は大変ありがたいものでした。NPOの活動は、志で動いているところが大きいので、どちらかという資金面での苦労が続きます。そこに多くの方々のご支援による助成金制度があることは本当に心強いものです。こうした草の根活動が、いつの日か世の中を変えるような大きな成果を生み出すかもしれません。そうした可能性をこの助成金作り出し



家庭訪問型子育て支援オーガナイザー 養成と訪問ボランティア養成事業

(特)わこう子育てネットワーク
(和光市)

子どもの
健全育成

子どもの多い和光市では種々の子育て支援が実施されていますが、私たちが運営する子育て支援拠点でも支援の手に繋がることができず孤立している（いた）親子の様子を知ったり、深刻な事態が発生したときに孤立していたことが発覚するケースがあります。ホームスタート（家庭訪問型子育て支援）は研修を受けた子育て経験者がピアサポートするアウトリーチのしくみであり家庭を地域から孤立させないで育児不安を和らげる効果が強いです。しかしまだ理解が十分でなく基盤整備もままならなかったのですが、助成を受けることで、オーガナイザー1名（コーディネーター役割）と熱意あるビジター11名（訪問ボランティア）の養成を行うことができまし

た。団体の求心力も高まり4月からは独自事業として訪問を開始する予定です。この事業の意義についてはメディアにも取り上げられ、和光市でも強い関心を喚起することができました。また、他市にまで広く普及の役割を果たすことができました。私たちのチャレンジを引き続き継続するためさらに啓発に取り組み制度化への働きかけも行っていきたいと考えています。



農業就労にチャレンジ！ 障がい者の農作業体験受け入れ事業

(特)けやきファーム
(さいたま市緑区)

農業

私どもけやきファームは、さまざまな障がいのある方の農業分野への就労を目的に「農業就労にチャレンジ！（障がい者の農作業体験受け入れ事業）」を実施致しました。

助成金をいただいたことで障がい者、高齢者にも作業のしやすいと言われている「レインカット方式」という県内でも例の少ないブドウ棚の方式（背の低いブドウ棚）を取り入れ、目標である障がい者の農作業就労に向けての基本となる設備を整えることが出来ました。これにより、障がいある方の受け入れ環境が大きく進み、それをきっかけに近隣農業関係者の方々と交流を持つようになり、今後の活動に当たり、多くの情報、お力添えをいただくことが

可能になりました。

農場の作物の栽培、成果までにはまだまだ時間がかかりますが、これを機に今後もより多くの方々に体験していただけるよう計画し、障がい者の就労の実現に向けて活動をしてまいります。



シニア向け健康体操教室の開催

(特)スポーツコミュニティ久喜東
(久喜市)

スポーツ
振興

シニア健康体操教室は、バランススティックという足の無い平均台状の器具を使っての平衡感覚の衰えを防ぐ筋力トレーニング教室です。音楽でリズムを取りながら体力に応じてゲーム感覚で行うトレーニングです。定員を大幅に超える応募があり、優秀な講師の指導の下、大変好評のうちに実施できました。

この教室は、高齢化社会の中で行わなければならない事業と考えていた課題でした。しかし、その実現は人的負担に対する財政的困難から実施をためらってききましたが、助成金をいただけることとなり実施することが出来ました。最大の成果は、引き続き教室開催希望が数多く寄せられ、継続的定期的教室

へ発展できたことです。今までの多くのこうした教室はその場限りのものになることが多いのですが、今後は引き続き当法人の事業として開催します。当面、月2回隔週で実施します。

試行錯誤の中で事業を実施し運営してきましたが、広域スポーツセンターの支援により何とか成功のうちに実施できました。



スポーツと生きる力の基礎体づくりとして 「徒手運動プログラムの開発及び手具を用いた 運動プログラムの開発企画」

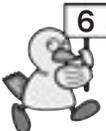
(特)スポーツ・サンクチュアリ・川口
(川口市)

スポーツ
振興

今回、幸いにも助成を受けて、本事業が“運動と年齢性別を越えた地域の仲間づくり”に貢献できると確信できました。基礎的徒手運動をベースにして、新体操用のリボン・中国渡来のビック・リボン等の手具を用いての運動を通じて、色彩感覚・空間感覚・リズム感覚・バランス感覚・反射能力に加えて時間感覚を駆使して、5歳の女の子から70歳以上の方達にまで表現の場を提供出来た事は大きな収穫です。年齢・性別に関わらず徒手としてのリボンがスポーツへの夢や楽しさを実感する有効なツールとなったのです。

また、上記の感覚を研ぎ澄ますことにより、日常生活を円滑に行うことを永続的にする事と非常事態

(例えば、交通事故・階段の上り下りでの事故・混雑時の平地での事故等)に咄嗟に対応が可能になるものと思われ、被害を最小限に食い止める事が出来るかも知れません。この事業が日頃の健康維持・ストレス発散・仲間づくりに加えて、幼児から高齢者の日常での事故の削減にも繋がればと考えております。



ひきこもり若者の社会参加 推進プロジェクト

(特)KHJ埼玉けやきの会家族会
(さいたま市北区)

「ひきこもり若者の社会参加推進プロジェクト」はひきこもり状態から脱出しつつある若者が社会へ出てゆけるための前段として、まずボランティア清掃活動を行い、慣れたところで就労体験へとステップアップさせることを目的として取り組みました。ひきこもりの若者とひと言で言っても、それぞれ背景や心身の状態が異なるため、現場においては一人一人に細かい配慮が必要でしたが、支援に当たったジョブコーチはひきこもりの子を持った経験のある親であり、その体験が生かされました。社会参加の第一歩として行った活動は、公園や神社での清掃ボランティアです。自然と人との緩やかな触れ合いの中で心と体をほぐし、対人緊張を解消してゆきまし

た。さらに第二段階として当会内での機関紙の発送作業などの就労体験を行いました。回復は予想以上に進み自信をつけた若者は、企業研修やアルバイト、福祉施設のボランティア体験へとステップアップできました。当助成事業で得た成果は非常に大きなものでした。



川越まちなか避難マップの作成

(特)武蔵観研
(川越市)

「川越街中避難・観光地図」は、川越を訪れる観光客や住民が安心して安全に市内を散策、通行できるように、避難場所及び防災拠点などに重点をおいたA2版(A4版の4倍)の見やすい地図です。

川越市のまちなかの道路は、城下町だった影響で入り組んでおり、通りに名前も少なく、観光客泣かせになっています。

このため、観光客が安心して安全に市内を散策できるよう、また、万一災害が発生した場合を想定して、次の事項に重点をおいて作成しました。

- ①避難場所、広域施設は緑で表示し、わかりやすくしました。
- ②観光スポットは、赤で表示しました。
- ③トイレ、障がい者用トイレを明示しました。
- ④病

院、AEDを表示しました。⑤文字を大きく見やすくしました。⑥難漢字にはふりがなをつけました。⑦外国人用に英語表記も適宜入れました。⑧QRコードで防災情報にアクセスできるようにしました。⑨町名など大胆に削除し、シンプルにしました。⑩観光モデルコースを、1度で回れるように表示しました。⑪七福神の寺社は、矢印で次の位置を示し巡りやすいようにしました。

今後は、適宜改訂版を発行していくことを検討しています。



音楽・コミュニティ・まちづくり

(特)オペラ彩
(和光市)

音楽によるコミュニティづくりを目指し、閉店後の喫茶店を借り切って、一流のアーティストによる生の演奏を楽しんでもらうコンサートを開催しました。助成金をいただいたことでクオリティの高いコンサートが実現し、音楽ファンの開拓と、芸術文化ボランティアの人材育成の種まきができました。

音楽は人を元気にします。「ホットなクラシックコンサート」の名の通り、会場(定員35名程度の喫茶店)、価格(1回1,500円)、時間帯(18時~19時30分)と、助成ならではの事業でした。

演奏に加えて、オペラの楽しみ方や曲目解説、作品の時代背景などのレクチャアを交えた、イタリア人による“イタリアをめぐる音楽の旅”は、間近で

生の演奏を味わい、ティータイムにはイタリアと日本の風土や生活習慣の違い、両国の音楽教育の在り方まで突っ込んだ意見の交換がなされるなど、大変好評でした。最終回は収容人数の制限があってお断りした方が続出し、心残りです。

採算性を考慮しつつ企画の継続を図りたいと願っています。今回手を挙げて下さった皆さんと一緒に芸術文化ボランティアの組織化を試みたいと考えています。



DV被害家庭の子ども教育支援

(特)C・Cスペース
(さいたま市浦和区)

日本の子どもの7人に1人が貧困に苦しみ、将来の可能性を摘み取られつつあります。(国立社会保障・人口問題研究所発表)

平成10年度よりDV被害女性の支援を開始して以来、被害女性、子どもの支援をしてきました。子どもたちは見知らぬ町で地域になじめず、塾に通うことも出来ないため学力の低下があり、クラブ活動の費用が払えない等多くの障害を抱えて暮らしています。一人親であるため、子どもへの配慮が出来ない、子どもに接する時間が少ない、生活費が不足している等の悩みを抱えています。

そのような家庭の子どもたちが学習する方法、学習への興味を持つことや十分な教育への機会が得ら

れない課題があります。

殊にDV家庭の子どもたちは精神的なダメージを無意識の中に持ち、自身だけでは問題を解決できないことが多々あり、カウンセリングと学習を併用した学習支援を実施しました。この事業で学習することの楽しさ、学び合う事を体験できたのではないかと思います。この成果をもとにもっと多くの子どもたちを対象に、地域も広げていけるようすすめていきます。



みんなで紡ぐファッションライブ (手織り作品展・創作展・写真展)

(特)織の音アート・福祉協会
(さいたま市北区)

今回の助成金で実施した事業「みんなで紡ぐファッションライブ」は、ギャラリー3室での展示、茶室での和菓子と抹茶をいただきながらのお点前拝見、大ホールでのファッションショーとコンサートなど盛りだくさんでした。

光をイメージした展示は、大変好評で多くのひとに感動を与え、その後も問い合わせが寄せられました。ファッションショーでは、利用者の豊かな個性を引き出した振付けは会場にその魅力をアピール、素直でのびのびした表現にどれほど感動したか涙を浮かべ感想を述べた人たちもいました。

喜ぶ、楽しむ、感動するという誰もが持つ感情を共有できる場を数多く経験することで、豊かな感性

により磨きがかかり、少しずつ自信をもって自己表現できるようになってきています。色彩豊かな作品に触れ、来場者は感嘆の声をあげており、また、障がいを持った者の作品と知ると驚き、関心と理解を示していました。

今後も多くの人のつながりを大切に、地域の活性化を図りながら、さらに大きく、広く活動の機会をつくりたいと思っています。



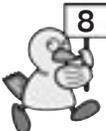
埼玉の養蚕文化再発見 埼玉ブランド繭「いろどり」での 地域ブランド作り

(特)川越きもの散歩
(川越市)

日本の絹がもう1%しかないことをご存知でしたか? 埼玉県は全国4位の養蚕県であり、埼玉独自のブランド繭「いろどり」を開発しています。しかし外国産の絹におされ、国産絹は絶滅寸前。県内には80軒の養蚕農家が養蚕文化を残したいと頑張っています。

そんな農家を応援するため、また、きものを着ることを通して社会貢献をしたいという私たちのミッションを遂行するため、秩父の養蚕農家を見学し、その農家が飼育した「いろどり繭」で生糸を注文し、スカーフ・きものを作るという事業に助成を頂きました。埼玉県では、繭の地産地消がいまならまだ可能であり、繭、生糸作り、織物作り、がオール埼玉

県人でできるということを多くの人に知ってもらい養蚕文化を発信していきたいです。川越での「埼玉の養蚕を知る」シンポジウムには80名の参加があり、設立1年未満のひよっこNPOですが自信をつけることができました。養蚕見学会はJTBのツアーとして新たに展開することになり、また多くの出会いを楽しみにしています。



みんなでサポート事業の流れ



保健・医療・福祉

(特) スミレ(所沢市)

心の悩み、ひきこもり等で将来に不安を抱える本人及び保護者に対して、個別相談、精神分析、医師への紹介等を行い、自立に向けて生活支援をしています。

“心に悩み”（精神障がい者も含む）があり、社会の中で生活しづらい人たちに就労の場を提供

するため、“手作りパン”の製造、販売をして、協調性と社会性を育むように、忍耐強く自立までサポートをしています。



(特) 埼玉県障害者相談支援専門員協会(鶴ヶ島市)

県内で障害者に対する相談支援業務に携わる人々が主な会員です。障害者相談支援に携わる者の組織化をすすめ、研修や調査等を行い、その質の向上を図ります。また、行政や様々な職種や事業所、地域住民等との協働体制の構築により、障害者の地域生活の向上に寄与する事を目的としてい

ます。埼玉県において障害者の相談支援に携わる者に対し、必要な知識の習得や専門性の向上のための研修を行います。また、その活動を支援・助言する事業を行うことで、障害者の地域生活の向上に寄与する事業準備のため、県内相談支援体制の状況調査などを行います。

(特) 医療・麻酔安全普及協会(所沢市)

「医療の安全」をテーマに、年2回の市民公開講座を行っております。これは、医療の安全・安心を一般市民の皆様にも少しでも理解をしていただくための啓発活動です。市民公開講座は、講演を始めとし、医療相談で先生が健康に対する相談に直接答えます。健康検診では動脈硬化・生活習慣

病などの検診を行います。生活指導は検診データを基に日常生活のアドバイスをいたします。医師、看護師、医療機器メーカー、市民スタッフの皆様にもボランティアで協力いただいております。会員は、医師・看護師・一般市民・病院・医療機器メーカー等で、会費収入で運営いたしております。

(特) 在宅福祉サービスたすけあい日高(日高市)

私たちは住民互助型の有償ボランティア団体です。平成12年に活動を開始して以来10年になります。高齢者・障がい者・児童・健常者など支援を求める利用申込者の要望に、できる限り応えています。活動の継続は様々な困難がありますが、この活動を支えるのは、市民が市民の生活を支え

あうこの事業を継続させたいという会員の意欲と、支援を喜んでくださる利用者の声です。

この10年間、利用者は増えますが支援を担う協力者の広がりが乏しく、年々高齢化が進む協力会員の負担が大きくなるのが悩みです。

(特) ほっとポット(さいたま市岩槻区)

ほっとポットは、さいたま市周辺で野宿生活状態にある方、生活に困っている方々の相談や生活支援をおこなっている民間団体です。さいたま市岩槻区に事務所を開設し、主に生活保護の申請支援、権利擁護、アパートの入居支援、日常生活支援を中心とした福祉活動を展開しています。社会

福祉士のスタッフが、権利を守る為にお手伝いをさせていただく権利擁護という姿勢で、生活に困窮して相談に来られた方の実質的な問題解決を図ることをめざしています。



(特)めだかふぁみりい(川口市)

ハンディのある子もない子も共に地域の中でふれあいながら育ち、大人になっても共に豊かに生きていくことを基本理念に、川口市安行で活動を始めて28年目を迎えます。2000年にNPO法人格を取得しました。現在の主たる活動は、知的障がいのある人たちの余暇支援が中心です(お

もちゃ図書館やカルチャースクール、地域交流活動等)。今年度から、会員・賛助会員をはじめ、一般市民に向けての連続講座を開催し、障がいのある人たちも地域で豊かに暮らすことを応援します。

(特)ポコ・ア・ポコ(和光市)

障害のある人やその家族が地域の中で、ごく普通に自分らしく安定した生活を送れるように「障害児・者の地域でのゆたかな暮らしをつくる会」ポコ・ア・ポコを設立しました。現在ポコ・ア・ポコでは、知的障害者のケアホーム「どんぐり」(5名入居)の運営や生活サポート事業(送迎や

一時預かり)、障害児の放課後の居場所として児童デイサービス「ぼこの実」(定員10名)の運営、また社会参加・余暇活動(スポーツクラブ・料理クラブなど)を行っています。



(特)NPO菜の花エコプロジェクト埼玉(坂戸市)

私たちは、遊休農地を活用し、無農薬で菜の花を栽培し、収穫した菜種から無添加で良質な菜種油を生産しています。又、腐食油はBDF(バイオディーゼル燃料)にリサイクルすることでごみ減量とエネルギーの地域自給、資源が循環するまちづくりにつながります。環境問題の解決は、市

民一人一人の気づきと地道な市民活動の実践が重要です。さあ!あなたも“見て!食べて!車が走る菜の花体験!!”に参加し、環境市民になりませんか。



(特)ぎょうだ足袋蔵ネットワーク(行田市)

足袋産業関連の歴史的建築物(近代化遺産)「牧禎舎」の保存と再活用を行い、足袋産業遺産を活かしたまちづくりを進め、かつて行田市内に存在していた藍染体験施設を復活させ、藍染体験等を通じてコミュニティの創出を図りました。さらに、近隣に位置する「足袋とくらしの博物館」、

「足袋蔵まちづくりミュージアム」、「忠次郎蔵」と連携した足袋産業遺産を活用したまちづくり、地域活性化の具現化を実施しました。



(特)埼玉県愛瓢会(さいたま市見沼区)

ひょうたんはユーモラスな形だけでなく、最古の栽培植物といわれ、一万年の歴史を持ち、人間の生活用具として使われてきました。又、瓢箪は開運、家内安全、無病息災等縁起物としても好まれてきました。私たちは県内で活動する瓢箪の愛好家の集まりです。特定非営利活動法人全日本愛

瓢会の埼玉県支部でもあります。瓢箪の栽培と加工技術の情報交換や講習会を開催し向上に努めています。立派な工芸作品になった瓢箪を展示会で発表し、瓢箪文化を広く普及させたいと思っています。



よみがえれ元荒川の会(蓮田市)

元荒川を自然豊かで美しい姿によみがえらせ、みんなが親しめる川にすることを目的として平成10年に発足しました。水質は次第に改善して魚などの生き物は戻ってきましたが、未だ不十分です。ゴミもあります。この解決には地域市民の理解と協力が不可欠で

す。広く環境意識の向上が大切であり、子ども達を対象とした環境教育を支援しています。身近な綾瀬川にも課題があり、関係団体と協力して取り組んでいます。



(特)小川町風土活用センター(小川町)

再生可能エネルギーをはじめとする地域由来の資源を循環活用する事によって、地域資源、地域社会を発展させる事を目的として、2002年7月に設立されました。現在は生ごみを資源化する醗酵槽プラントの運営、自然エネルギー学校開催等を行っています。醗酵槽では、学校給食と一般

家庭から出る生ごみ約300世帯相当分から、農家の利用する液体肥料とバイオガスを生産しています。ガスはコージェネで利用実験を継続中です。会員数は約50名です。



鴻巣の環境を考える会(鴻巣市)

平成17年10月、第5回環境まちづくりフォーラム・埼玉の実行委員会に係わった鴻巣市内の環境保全活動をしている市民が主体となって、未来ある子どもたちに、豊かな自然環境と共生可能な都市づくりを目的に事業者及び行政などとパートナーシップを結びながら活動していくことで

スタートしました。NPO法人環境ネットワーク埼玉の役員がリーダーとなって、県地球温暖化防止推進員、緑の推進員および彩の国環境大学修了生の会員などが集まり、環境学習、河川浄化、エコライフDAY推進など、さまざまな環境問題に取り組んでいます。

入間市不老川をきれいにする会(入間市)

私たちは、不老川に清流を取り戻し、子どもたちが安心して遊べる水辺環境を目指して、日々活動しています。毎年行っている6月の不老川土手の草刈、9月の不老川流域空き缶拾いには、不老川をきれいにするために、大人と子どもが一緒になって汗を流しながら取り組んでいます。平成2

1年度は、NPO基金を活用し、8月に不老川の水質浄化と環境美化の啓発用のぼり旗を設置し、9月に不老川流域空き缶拾いの参加者の方に、家庭からの生活雑排水対策用啓発品を配布しました。これらの効果により、不老川が親しみのある身近な川になることを願っています。

(特)環境ネットワークさいたま(さいたま市大宮区)

当団体は地球温暖化防止を始めとする環境保全活動を推進するため、「埼玉県地球温暖化防止活動推進センター(埼玉県温暖化防止センター)」の指定を目指すNPOとして平成17年1月に設立しました。同年4月に埼玉県より埼玉県温暖化防止センターの指定を受け、埼玉県のセンターと

して活動を開始しました。温暖化防止のための普及啓発活動を中心とし、市民や事業者に対して幅広く情報の提供、研修、ネットワークづくり等を行っています。



熊高森づくりの会(熊谷市)

熊高森づくりの会は平成20年7月5日に設立されました。当会では、埼玉県立熊谷高等学校(以下「熊高」という。)の校歌にうたわれた荒川水源地の一つである長瀨町宝登山に悠久の森づくりを行っています。この活動により、熊高に学んだ卒業生、在校生など多くの人たちが集い、交流

を図るとともに、地球環境の保全や水源涵養等に寄与したいと考えています。会員数は約800人。事務局は熊高同窓会館「くぬぎ会館」内。



(特)東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラム(戸田市)

東京湾を要にして、荒川、利根川、多摩川の水循環を理解することは、河川環境保全の基本となります。治水、利水と合わせて、地道に活動する日常の市民活動を基本にして、ネットワークを形成しています。

今年、武蔵水路の改修事業、川の再生事業への協働が活動の中心となります。



(特)埼玉エコ・リサイクル連絡会(さいたま市大宮区)

当団体は、幅広い環境保全型のリサイクル活動を、市民団体だけでなく、製造・流通・再生資源などの事業者、各種団体・個人が参加し、県や市町村とも、ネットワークを創ってすすめています。主な事業にはエコ・リサイクル交流集会を始め、研修見学会や講演会、委員会(資源循環、ごみを

知ろう、グリーンコンシューマー)ではそれぞれにテーマを掲げ、活動を行っています。環境講座では講師を派遣し、県内外の学校、公民館などの環境学習のお手伝いをしています。



新方川をきれいにする会(越谷市)

会を発足させて19年になりました。河川清掃も川沿いの自治会の方々の協力をいただき楽しく行っております。身近な自然環境を思う人達も多くなり、緑道に桜井連自治会(コミュニティ推進協議会)みどり部会の方々が、我が地域をすいせんの郷にした

いと花を植えて下さっています。また、越谷市に元荒川をきれいにする会、綾瀬川をきれいにする会、大落古利根川を清掃する団体も立ちあがりました。私達の会も初心に戻って、学校環境学習等、行政の方々としっかり連携をはかり、活動を行っています。

(特)ivory space さいたまとアジアをつなぐコミュニティ(さいたま市見沼区)

当団体は、東南アジア地域を中心に草の根レベルでの教育協力や相互交流などを行っています。身近でできる国際協力活動を通じて、国際的な視野を育むと同時に、地域社会を考えるキッカケとなることを志向しています。昨年度は、小学校での国際理解の授業や高校生・一般の方を対象とし

たスタディツアーの実施、国際理解の講演会、タイ北部山地区の子どもたちへの協力活動やスラム地域内にある図書館の協力活動等を実施しました。ちょっとした関心から世界が広がる草の根活動をモットーとしています！



(特)燈台(北本市)

燈台は、アフガン難民及びアフガニスタン共和国国民の自立のための一助として20年以上に渡り活動しています。同国内及びその周辺地域において、医療面(風土病治療等)と教育面(小・中・高校教育等)の無償援助を行っています。援助の継続のために一般寄付、企業広告、公的助成等

の協力がなされて来ました。日本からの<善意と愛が>実を結ぶ日を期待しています。



(特)青少年の自立を支える埼玉の会(上尾市)

埼玉での自立援助ホームは今年10周年を迎えますが、ホームの歴史は約50年にもなります。第二種福祉事業ではありますが、昨年の子童福祉法の改正で措置費が得られるようになりました。義務教育を終えただけで社会に出るにはまだ難しい年齢です。生育歴に虐待があったり、発達障害

などマイナス要因を持つケースが多く、癒しの生活場所としてホームを提供して行きたいと考えています。



(特)よしかわ幼児教室おひさま園(吉川市)

無認可の幼稚園類似施設の運営事業と子育て支援事業を柱に、人と人がつながり、子どもが健全で豊かに育つことのできる地域づくりに貢献できるように活動しています。昭和を思わせるアンティークな園舎、赤土の園庭、築山、やぎ、ウサギ、ニワトリ、人と人とのつながり、手づくりの

給食などなど、どれをとっても情緒がいっぱいです。



(特)ふるさと創生クラブ(行田市)

わたしたち『ふるさと創生クラブ』は、行田市の西部地区を拠点に、子供たちの安全を確保するための下校付き添いや、ふるさと子供教室やピオトープの運営など、豊かな自然を取り戻し、子供たちの健全育成のお手伝いを中心とした活動を進めております。

また、地域の団体とも連携をとり、環境の改善や福祉の課題にも取り組みを進めており、一歩ずつ前進をはかっています。



(特)埼玉消費者被害をなくす会(さいたま市浦和区)

当会は、「埼玉・商品被害をなくす連絡会」として9年間活動した後、平成16年11月に「埼玉消費者被害をなくす会」として法人化しました。消費者被害の問題をなくし、消費者の権利確立を目指した活動を消費者や消費者団体、専門家などとのネットワークのもとに行っております。主に

不当契約や不当表示等に関して、被害情報を収集・調査・検討し、事業者の不当行為に対して是正の申し入れや、消費者への情報提供を行っています。



(特)NPO埼玉ネット(さいたま市桜区)

NPOフェスタ(屋外イベント)、NPO塾in埼玉(研修会)、行政と協働してのシンポジウム、行政・指定管理者との協議機関への委員派遣、ラジオ番組「キミに、つながレディオ!」制作、NPO共同オフィス「埼玉NPOハウス」企画運営等の活動を通じ、全国的なネットワーク組織と連

携し、埼玉県における市民が行う非営利活動の連絡、交流、支援を行い、豊かで充実した市民社会づくりに寄与しています。



NPO運営力強化・育成支援事業

NPOが継続的、安定的に組織を運営していくために必要なマネジメント力や広報力等に関する能力の向上を図り、NPOの組織運営基盤の強化を目指します。

平成21年度事業内容

● 各種講座

NPOのマネジメント能力の向上を図る「NPO運営力講座」、情報発信や広報力を強化するための「NPO広報力講座」、地域の実情や課題をふまえ、解決のためのテーマを設定した「地域講座」の3種類の講座を実施しました。



講座名	テーマ	講師	開催日・場所
運営力講座 (全3回) 参加人数 延べ194名	ミッションをどう事業化するか	田中 尚輝氏 (社)長寿社会文化協会 常務理事	8月26日 With You さいたま(大宮区)
	元気が出る NPOのファンドレイジング	鶴尾 雅隆氏 (株)ファンドレックス 代表取締役	9月8日 浦和コミュニティセンター
	「協働したい!」と 思われる組織づくり	川北 秀人氏 IIHOE 代表	9月18日 With You さいたま
広報力講座 (2日間) 参加人数 延べ68名	自分たちの活動を 魅力的に伝えるヒケツ	東 一邦氏 (特)さいたまNPOセンター 理事	9月12、19日 With You さいたま
	あなたにもできる! 簡単なブログの作成	NTTコミュニケーションズ(株)	10月17日 With You さいたま
地域講座 (計5回) 参加人数 延べ255名	NPOと地域が連携して 共に元気になろう	市川 均氏 (特)ちちぶまちづくり工房 代表理事	10月24日 深谷れんがホール
	NPOの資金活用 ～子どもNPOの実践から～	武藤 定明氏 (特)子ども文化ステーション 代表理事	11月18日 春日部地方庁舎
	ラジオで広報 NPOの魅力発信!!	松尾 道夫氏 (特)NPO埼玉ネット 副代表理事	11月26日 所沢市生涯学習推進センター
	コミュニティビジネスの 実践研究会	浅見 要氏 (特)鶴ヶ島市学童保育の会 相談役	11月27日 コミュニティレストラン 「ここほっと」(鶴ヶ島市)
	つながる つながり 新しい地域力の創出 ～NPOの役割、市民の役割、行政の役割～	NPO活動実践者、市民、行政の代表5名 (パネルディスカッション形式)	2月6日 朝霞市産業文化センター

● NPOホームページコンテスト2010

優れたホームページを顕彰し、他の模範とすることで、全体的な情報発信力向上を図るため、実施しました。審査の結果、最優秀賞1団体、優秀賞2団体、奨励賞3団体が選考されました。

最優秀賞	(特)ケアリングフォーザフューチャーファンデーションジャパン		
優秀賞	(特)マドレポニータ	(特)すぎとSOHOクラブ	
奨励賞	(特)ふじみ野明るい社会づくりの会	(特)さいたまシニアパソコン友の会	(特)土と風の舎

平成22年度事業予定

21年度に引き続き、NPOが支援の輪を広げるために必要な情報発信力を強化する講座等を実施します。また、NPOのIT能力強化のため、「ホームページ講座」を新設します。

NPO元気なまちづくり助成事業

NPOが主体となって取り組む施設整備に対して助成を行い、NPOの活動の拠点づくりや、地域資源を活用した施設整備を促進します。

地域でNPOが活動する拠点を増やすとともに、住民交流の機会を創出することで、地域で支え合うという共助意識を高め、地域に愛着を持ち、地域をより良くする「住民交流を目的としたまちづくり」を目指します。

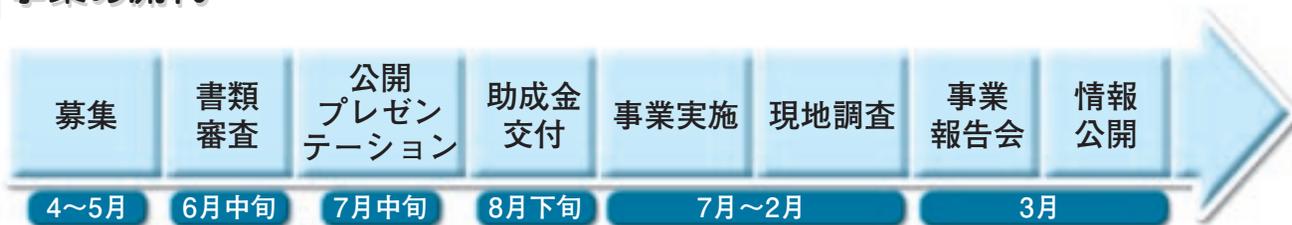
平成21年度事業内容

助成区分	活動拠点の整備事業	地域資源の活用事業
助成対象事業	住民交流を促進する活動拠点として、県内に新たに施設を整備する事業	歴史や自然など地域資源を再評価し、まちづくりに活かすため、県内に住民交流を促進する施設を整備する事業
対象団体	県内に事務所を有し、県内を中心に活動しているNPO法人	
助成限度額	200万円(助成対象経費の10/10)	800万円(助成対象経費の4/5以内)
対象経費	施設の整備に係る経費のうち、工事費もしくは設計費	
事業実績	助成件数 計2件 助成金額 計3,827千円	助成件数 計1件 助成金額 計8,000千円

平成22年度事業予定

平成21年度と同内容で実施します。

事業の流れ



ちょこっと!!コラム 教えて!!コバトン



Q NPO基金にはどんな人たちが寄附しているの？

A 個人や企業だけでなく、公益法人、NPO法人、その他の団体など、いろんな方々が寄附してくれているんだ。県内からの寄附が多いけど、県外からしてくれる方もいる。NPO基金は多くの方々に支えられているんだ。

NPO基金へ寄附すると、税法上の優遇措置(→p.20)を受けられるから、それが少しでも寄附者の皆さんの負担を軽くできていれば、嬉しいな。



コミュニティカフェの開設

(特)サポートあおい
(川越市)

活動拠点
整備事業

私たちの法人は、精神障がい者の地域生活を支援している団体です。精神障がい者は雇用側に少しの配慮があればきちんと就労できますが、就労の場が少ないというのが現状です。また、私たちが活動拠点としている地区には気軽に地域住民が集える場所はなく、精神障がい者の就労の場の創出と地域住民の交流の場の提供を目的としてコミュニティカフェを開設するに至りました。今回の助成を受けたことで、地域の一員として活動しなければならないという思いを強くしました、自治会にも正式に入会し、カフェの運営についても具体的に協力いただける流れにもなっています。ケーキ作りのボランティアとして協力して下さる住民の方もおり、地域の方々の

温かさや期待の大きさを実感しています。

今後はゆったりした空間とハンドドリップのコーヒーや手作りケーキを提供するだけでなく、ギャラリーやイベントの場として地域の方に利用していただけるよう、積極的に働きかけていきたいと考えています。地域の方々に愛されるコミュニティカフェを目指して頑張っていきます。



健康寿命をのばす “おひまちサロン”開設事業

(特)ライフアップサポート
(横瀬町)

活動拠点
整備事業

今まで考えていただけで実行できなかったことが、できるようになり夢のような気持ちです。私達NPOはまだまだ地域にも公的機関にも少ししか認知されていませんが、こういった地道な活動を続けていくことによって少しでもたくさんの方々に認知していただけることを願っています。

今回の助成でスペースを確保し交流の場を設けるといふ改修事業を行いました。同時に別の助成をうけることができ、配食サービスのための調理施設ができました。このおひまちサロンと配食サービスがいっしょにはじめられるということは、私たちの活動がより大きく発展していくことになると確信しています。

人生最期の時まで、住み慣れた自宅で安心して暮らせる社会をめざして、この横瀬町の第一歩を私達NPOが担っていけたらと思っています。まだまだNPOの認知度が低い地域でもあります。少しでもNPOを皆さんに理解していただけることを願っています。



建物外観(右上)とおひまちサロンの様子(左)

酒蔵を利用した「深谷シネマ」の一部に ＜市民交流スペース＞の設置事業

(特)市民シアター・エフ
(深谷市)

地域資源
活用事業

わたしたちは2000年4月に「映画文化の発信とまちづくり」を目的に深谷でNPO法人を立ち上げました。商店街の「旧さくら銀行」を改装した街の映画館「深谷シネマ」は、憩いの場として市民に親しまれています。

このたび区画整理事業により、近くにある「旧七ツ梅酒造」の酒蔵を改修して移転することになり、ロビーを＜市民交流スペース＞として活用することとしました。

今回の助成事業により＜市民交流スペース＞部分は、昔のままの組み柱を活かしたスペースとなり、歴史を感じさせる空間となりました。全体としては周りの建物に調和したレトロでオシャレなスポットとなり、地域資源

を有効活用した深谷の街の一大拠点となります。

このスペースを市民活動の交流・発信の場にとどまらず、幅広い地域の団体の交流スペースとして育て、地元商店街とも連携して中心市街地活性化に大いに貢献していきたいと思っています。



市民交流スペースにてオープニング記者会見の様子(左)
 (「深谷シネマ」名誉館長 大林宣彦監督(写真中央左側))

NPO協働提案推進事業

地域社会の課題について、NPOから県と協働して取り組める事業を提案してもらい、NPOと県が協働で事業を実施することで、NPOとの協働を推進します。

事業の実施にあたっては、県とNPOとの役割分担を明確にした上で協定書を締結し、実施主体となるNPOへ事業費を補助します。

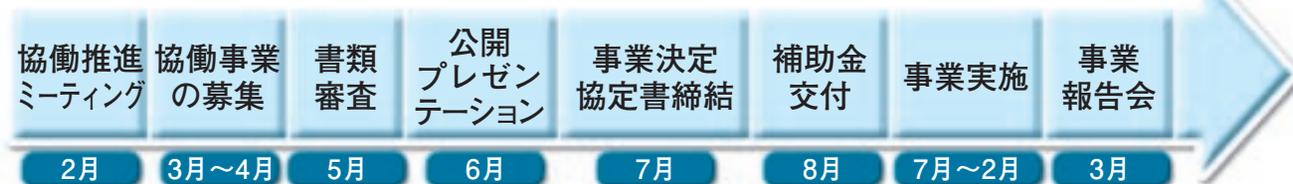
平成21年度事業内容

補助対象事業	NPOと県が協働で行う事業としてふさわしいもの(①か②のいずれか) ① 県が協働したいと考えるテーマに関する提案 ② 自由な提案
応募資格	県内に事務所を有し、県内を中心に活動しているNPO法人及び任意団体
補助限度額	150万円(事業費の4/5以内)
事業実績	補助件数 計5件 助成金額 計5,899千円

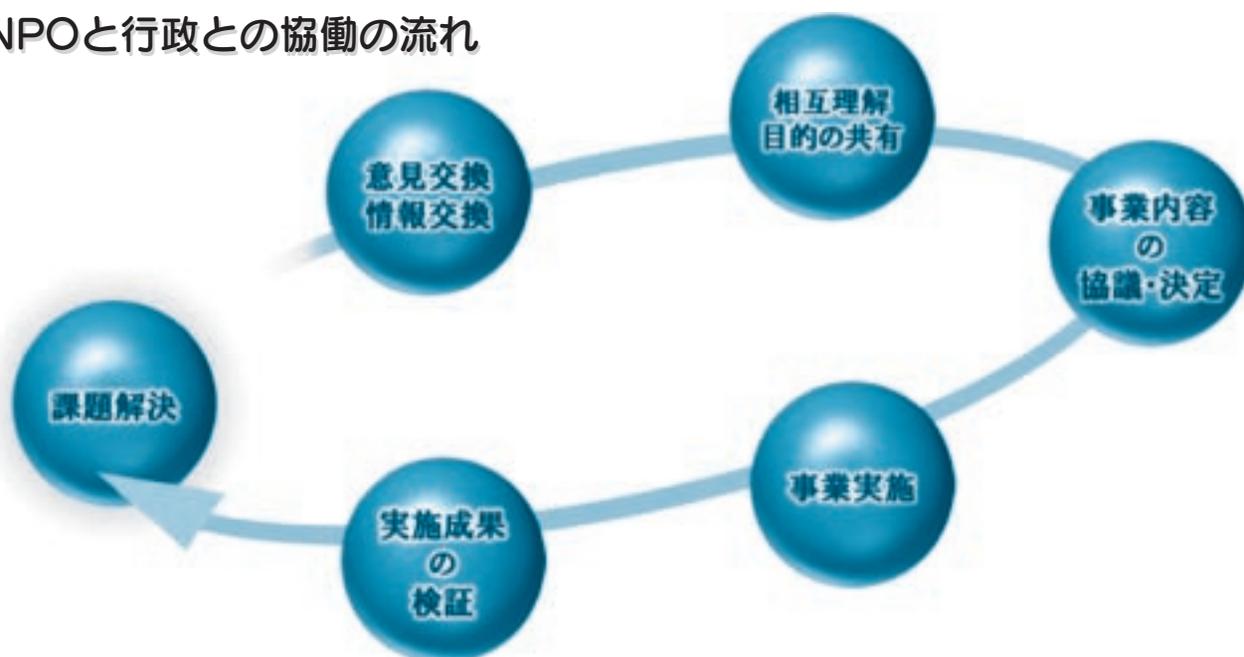
平成22年度事業予定

平成21年度と同様に、県とNPOとの役割分担を明確にした上で協定書を締結し、実施主体となるNPOへ事業費を補助します(総額600万円の範囲内で複数事業を実施)。

事業の流れ



NPOと行政との協働の流れ



ハートにプラス ～内部障害への理解を求めて～

(特)ハート・プラスの会(愛知県名古屋市)
×
福祉政策課

テーマ
提案

団体の活動紹介

(特)ハート・プラスの会は、身体障害の中でもあまり知られていない、内部障害の理解と啓発を社会に進めるため、平成19年当事者である内部障害者が中心となって法人化しました。

身体内部に障害を持つ人を表すハート・プラスマークを通じて、内部障害への理解と啓発を進め、多くの内部障害者・内臓疾患者が快適に暮らせる社会づくり、心のバリアフリーを進めています。

協働事業の概要

県内全路線バスに中吊り広告を展開するとともに、啓発資料を製作しました。

また、セミナーでは、製作資料を使用し対象者を絞り込んで開催しました。

- 特に埼玉県立大学及び聖学院大学で行った学生向けセミナーでは、内部障害の当事者4名が、将来の福祉現場において中心的な役割を背負う学生を前に体験談をはじめ有意義な講演を行うことができました。学生の評価も高く、来年度以降も継続して実施するお話しいただいています。
- さらに川口市で行った養護教諭向けセミナーでは、県立小児医療センターの医師と看護師が、協働事業で製作した啓発資料をもとに専門的・実践的な講義を行い、参加された養護教諭の先生方からも好評でした。



映像講座とレトロ映像発掘による 地元活性化

市民映像フォーラム(志木市)
×
産業拠点整備課

テーマ
提案

団体の活動紹介

市民映像フォーラムは、映像から改めて地域を見直す活動をしています。映像が、地元への愛着を深め、地域活性化の力となる人材を生み出すと考えます。その取組として「我がまち発見映像塾」は、映像の楽しさを伝える初心者向け講座とそこに関心を持ってくれた層に向けて中級講座を開催しました。

講師陣は、元テレビ番組ディレクター、映像クリエイター、まちおこし専門家があたりました。

協働事業の概要

「埼玉の魅力を映像で表現しよう」。映像塾は、カメラには興味はあるが撮影方法が分からない、家庭の行事撮影しか経験がない人たちを対象にした初級講座と、映像制作、ルールなどを学ぶ中級講座

- 「めざせ！市民映像記者への道」を開催。10代から70代までの男女91人が受講しました。中級講座はドキュメント・情報・観光をテーマに製作に挑戦。完成14作品はSKIPシティビジュアルホールで上映、さらに動画サイト「コバントHEムービー」で受講生の作品発信。受講生の78%から講座継続を要望されるなど確かな手ごたえを得ました。
- また県内に眠るレトロ映像の発掘、デジタル化を試み、公開を開始しました。県は映像ホール、動画サイトの提供、広報、募集などきめ細かい支援を行いました。



団塊世代活動支援事業

(特)越谷エヌピーオーセンター(越谷市)
×
就業支援課(団塊世代活動支援センター)

テーマ
提案

団体の活動紹介

(特)越谷エヌピーオーセンターは設立10年をすぎ、まちづくり、子育て支援、環境保全、高齢者福祉の促進、男女共同参画社会の促進などの分野で、市民や市民活動団体とのネットワークを作り活動しています。20年度の越谷市自治基本条例制定支援など、行政との協働事業も行っています。特に8年間続けている「4つの川の一斉清掃」は、越谷市や近隣市町村の市民団体とのネットワークを強化し、年々参加者も増えています。

協働事業の概要

県内のコミュニティ・カフェやコミュニティ・レストランを団塊世代の人たちが調査・取材し「コミュニティ・カフェガイドブック」を3000部作成しました。市民記者養成講座を4回行い、そのなか

- から記者になった人たちが編集会議を持ち、コミュニティ・カフェの定義を定め、調査・取材をして記事を書きました。また団塊世代に地域のコミュニティ・カフェを知っていただくために、カフェで「歌声カフェやミニコンサート、SP&LPレコードを聴く会」などのミニイベントを6回行い、合計136名の参加者がありました。
- 県は、会場の確保、同行取材、ミニイベントへの参加や、広報活動などを行い、協働事業の実績を上げることができました。



お魚から学ぶ水辺の生態系

(特)パーブレスフック普及協会(入間市)
×
生産振興課

テーマ
提案

団体の活動紹介

釣り人に、パーブレスフック(カエシの無い釣り針)の使用を推奨しマナーやルールの啓発活動・環境教育活動を行い、釣りの安全性を高めるとともに水辺を中心とする自然環境保全や継続可能な水産資源利用に寄与する事を目的としています。“釣り人の有志による団体”という特性を生かし、子供達に川は四季を通じ多くの生き物がひしめく興味の尽きない場所であることを実体験として伝えるため、釣りを通じた水辺体験を行っています。

協働事業の概要

県には身近で貴重な魚が息息する守るべき素晴らしい河川環境があることを一人でも多くの県民に実感してもらうことを目的に、4回のイベントを実施しました。釣りや手網を使った魚捕りと水辺の生態

- 観察会を夏と冬に実施。観察会で捕れた魚や水辺に棲む魚の知識を深める”さいたま水族館“の見学会を実施。
- 水辺の鳥類の観察会、魚を捕食する鳥から小魚たちが隠れる場所を笹伏せにより作りました。
- また、「水辺の生き物体験」を安全に運営できる案内人となるために作成したリーフレット「水辺の生き物調査体験の手引き」(ダイジェスト版)を県内小学校の教職員に配布。水辺の生態系(魚類だけでなく水辺の鳥類や動植物との関わり)を学ぶために必要なノウハウをWebで公開しました。



県内市町村への 長寿命化修繕計画策定支援

(特)社会資本アセットマネジメントコンソーシアム
× (東京都練馬区)
道路政策課

自由
提案

団体の活動紹介

当NPO法人は、コンクリート工学と社会資本投資の分野の専門家を中心とするメンバーで中立透明性のある組織を形成し、産官学民の連携により地方自治体を支援することを目的に設立しました。

特に、道路構造物や関連施設等の社会資本のライフサイクルコストの最適化、長寿命化を実現するための企画、提案を行い、地域に密着した保全管理の遂行と地域住民の利便性を維持し、地域経済の活性化に寄与することを目的とした活動を進めています。

協働事業の概要

県内市町村による道路橋の長寿命化修繕計画の立案・策定を支援することを目的とし、県とともに次の事業を実施しました。

- ①橋梁の状態把握や維持管理に関する講習会
橋梁の劣化状況などを把握するための技術的知識や橋梁点検方法等について、講義を実施しました。
- ②現場研修会
実際の橋梁を使用し、橋梁点検の際の着目点や実施方法等についての技術の修得を図りました。
(①、②ともに2日間実施 約70名参加)
- ③電子掲示板等の開設
Web上に掲示板を設置し技術的問い合わせに対応するとともに、計画作成に関する相談窓口としてコールセンターを開設しました。



ちよこっと!!コラム 教えて!!コバトン



Q NPO法人ってどんな活動をしているの?

A 介護サービスなどの福祉活動から、植樹などの環境保全活動、学童保育運営などの子育て支援活動など様々な分野で活躍しているんだ。

最近では、地域の課題を解決するために企業や大学など様々な主体と一体になって活動する例も増えているんだよ。

埼玉県もそのような地域の連携を進めるために「NPO協働ひろば(つながりナ)」などの交流の場を提供して支援しているよ。



NPO基金にご寄附いただいた皆様

団 体

東京ガス(株)埼玉支店 様
 国際ロータリー第2570地区 様
 天徳寺 様
 (医)ほり小児科 様
 (有)栄華堂 様
 秩父温泉 満願の湯 様
 東京ワックス(株) 様
 (医)清幸会 行田中央総合病院 様
 (医)鴻生会 小室クリニック 様
 (医)たかの眼科 様
 守屋八潮建設(株) 様
 (株)エアコンセンター 様
 (株)宮原設計測量 様
 富士パン粉工業(株) 様
 みたけ食品工業(株) 様
 キリンビール(株)埼玉支社 様
 アサヒビール(株)埼玉統括支社 様
 入間ガス(株) 様
 協和化工(株)埼玉工場 様
 武蔵建設(株) 様
 (株)市之瀬電設 様
 (社)埼玉県看護協会 様
 産経商事(株) 様
 トキタ種苗(株) 様
 (社)埼玉県歯科医師会 様
 埼玉県オフィスプラザ運営協議会 様
 (株)青木電設 様

(財)さいたま住宅検査センター 様
 (社)埼玉県薬剤師会 様
 三位電気(株) 様
 (特)サポートオール 様
 国際ロータリー第2770地区 様
 ジーイー・システム(株) 様
 埼玉県下水道施設維持管理協会 様
 (株)ウィズコーポレーション 様
 (株)信濃屋 様
 (株)ユーディケー 様
 (株)FM NACK5 様
 戸田市役所庁内自主勉強会戸田ゼミ 様
 (社)埼玉県環境検査研究協会 様
 埼玉県電気工事工業組合 様
 富士見市青少年育成市民会議 様
 大野消防設備(株) 様
 カカシ米穀(株) 様
 ヨーコー印刷(株) 様
 (社)全日本不動産協会 埼玉県本部 様
 大圓寺国際ボランティア会 様
 匿名希望 2社

平成22年3月31日現在(寄附順)

個 人

野田 成人 様
 石井 清江 様
 河村 岳志 様
 川崎 環樹 様
 新村 雅彦 様
 若林 祥文 様
 大寄 浩志 様
 原田 史 様
 國枝 敬子 様
 木村 勝昭 様
 ナカヤマトモコ 様
 大沢 修三 様
 山田 実 様
 丸木 希代 様
 丸木 和子 様
 千代 貞雄 様
 河登 一郎 様
 大前 明 様
 斉藤 勉 様
 青木 利人 様
 山村 昭康 様
 立石 愛子 様
 河原塚 耕作 様
 大久保 毅 様
 島村 治作 様
 丸山 眞之亮 様
 新藤 守治 様
 匿名希望 18名

ご寄附いただき
 ありがとうございます。

寄附者の声

社団法人埼玉県看護協会 様

埼玉県看護協会は、県内医療機関、施設等に勤務する看護職員(保健師・助産師・看護師)で組織する団体で、看護職員の研修や地域における看護・介護の普及・指導に関する事業等に取り組んでおります。

NPO法人には、私たちと同じように、県民の健康増進・福祉の向上に向けて保健・医療福祉の分野で活動されている団体が多数あると伺っております。

困難な課題に真摯に取り組まれておられる方々への支援とNPO活動への応援の意味を込めて基金に寄附させていただいております。

産経商事株式会社 様

「子どもを産み育てることが難しくなっている国！」
 経済大国といわれて久しい日本であるにもかかわらず、なぜ？子どもの数が著しく減少していくのか。今、私たちが最も重要視する必要がある問題だと思います。

「少子化」は、若年労働力の減少・消費市場の縮小・社会保障費の増大など、企業の経済活動を阻害する要因となり、経済全体の成長を脅かすものです。

未来に夢を持てるダイナミックな社会を形成するには、若者たちのあふれ出る力が必要です。それには、私たちができる小さなことから…との思いで「Sankeiキッズ基金」という活動を始めました。今回、皆様からいただいたご厚意が、子育て支援のNPO活動を通じて、次世代を育成する一助となれば、そして日本経済の発展につながればと、基金へ寄附しました。



皆様からのご寄附をお願いします!!

NPO基金への3つの寄附方法

広くNPOを
支援するなら



一般
寄附

各種助成事業やNPOを育成・強化する事業など、幅広い用途に使われます。

支援したい分野
があるなら



分野希望
寄附

17の分野などから希望でき、
チャレンジサポート事業の原資となります。

➡ P.4-8

特定の団体を
応援したいなら



団体希望
寄附

基金登録団体から希望でき、
みんなでサポート事業の原資となります。

➡ P.4,9-12

NPO基金へご寄附いただくと 税法上の優遇措置があります。

個人の皆様

所得税や住民税等が、寄附額や所得等に応じて控除されます。
(年累計5千円を超える寄附額が対象です。)

法人の皆様

寄附金額の全額を損金算入することができます。

※具体的な控除金額等、詳しくは、お手数ですが、
県税務課までお問い合わせください。

Tel 048-830-2640

さらに寄附の累計額が個人で10万円、
団体で50万円以上になると次の特典
があります。

1. 知事から感謝状を贈呈
2. 埼玉県NPO情報ステーションにバナー広告を掲載
3. 50万円以上の分野希望寄附をいただいたときは、
助成事業名に愛称をつけることができます。

➡ P.4

埼玉県NPO情報ステーションがリニューアルしました!

● NPO協働ひろば(つながリーナ)がオープン!

NPOと行政、企業、地域団体、大学など、地域の様々な団体が協働して地域の課題解決に取り組むための「出会い」や「情報交換」の「ひろば」です。

NPOはもちろん、地域貢献活動に取り組む全ての団体が活動紹介やイベント案内などの情報を発信できます。ぜひ登録ください。

携帯電話からも情報の閲覧、検索、掲載が可能です。気軽にアクセス♪



つながリーナ

検索

<http://www.saitamaken-npo.net/>

● 埼玉県NPO情報ステーションとは?

NPO活動を支援するために設置した総合的な情報提供サイトです。NPOに関する情報がもりだくさん。

お問い合わせ先

埼玉県県民生活部NPO活動推進課 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL 048-830-2828 FAX 048-830-4751 E-mail a2835@pref.saitama.lg.jp
埼玉県NPO情報ステーション <http://saitamaken-npo.net/>